

人々の安心を守る原子力の未来を描いて

三菱重工業株式会社 原子力セグメント
炉心・安全技術部 炉心・放射線技術課
尾原 正人

1. はじめに

私は大阪大学で、原子力工学について6年間学び、2023年3月に環境エネルギー工学専攻を修了しました。所属研究室では北田孝典教授および竹田敏助教（現：准教授）のご指導のもとで、原子炉物理に関する研究に励みました。大学時代は研究が思うように進まないことが多く、特に研究室配属年から流行したCOVID-19によって満足に研究を進められない時期もありましたが、先生方の熱心なサポートのおかげで無事に大学院を修了することができました。研究室での仲間たちとのディスカッションや、教授陣との密なコミュニケーションを通じて、困難を乗り越える力を養うことに繋がり、今の私の基盤を築いてくれました。大学時代に得た知識や経験は、今の仕事においても大いに役立っています。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

2. これまでの社会人生活

大学院修了後は、三菱重工業（株）に入社し原子力発電所の設計・製造に携わっています。私は放射線防護設計を担当しており、発電所から放出される放射性物質が人体に与える被ばく影響を評価しております。新卒で入社してからの2年間、主に福島第一原子力発電所のデブリ取り出し作業に関連する業務に従事しており、その他にも高温ガス炉や高速炉といった新型炉の設計業務にも従事しております。

原子力発電所に係る業務は、特に品質管理を徹底する必要があるため、気を引き締めて日々業務に取り組んでいます。更に、原子力発電所を運転するためには、設計・製造・運用など多岐の作業が必要となり、大学時代の机上検討とは異なる難しさがあります。例えば、設置したい機器のスペースが不足していることや、要求値を満たす機器を製造できないといった課題があります。これらの課題を解決するために、社内外の多くの関係者とコミュニケーションを取りながら業務に取り組んでいます。大学時代の研究室とは異なり、異なる専門分野を持った人々とのコミュニケーションは苦勞することが多いですが、その分やりがいを感じる瞬間も多くあります。

3. 今後の抱負

私の仕事は、人々の安全を守ることに直結しています。原子力発電所の設計を通じて、安全で安心で使えるエネルギーを提供し、国内産業の発展に貢献していきたいと考えています。まだ若手ではありますが、今後も多くの事を吸収し、成長していきたいと強く思っています。知識の獲得や技術の向上だけでなく、関係者とのコミュニケーションやチームワークの重要性も理解し、より良い社会を作るための一員として貢献していきたいです。私のキャリアの道のりはまだ始まったばかりですが、常に学び続け、成長し続ける姿勢を忘れずに進んでいきたいと思います。大学での学びと経験を活かし、より良い未来のために努力し続けます。私の成長を支えてくださった教授や仲間へ感謝し、これからも精進して参ります。

（大阪大学 工学部（2021年卒）、環境エネルギー工学専攻（2023年卒））